.商品の概要

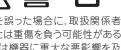
- ●この商品は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品(住宅用火災警報器)です。 消防法に規定された大規模な建物に使用する「自動火災報知設備」には代用できません。
- ●この商品は初期火災の煙を感知して警報音で知らせる住宅用火災警報器です。消火装置 や火災防止機器ではありません。火災などによる損害については責任を負いかねますので ご了承ください。
- また、次のような火災は感知できないことがあります。
- ・火のまわりの早い火災
- ・爆発的な火災
- ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
- ・煙の発生が少ない火災
- ●お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対し てより効果を発揮させるためには、必要に応じて複数の場所にお取り付けいただくことを おすすめいたします。

2.安全上のご注意



ぼす可能性がある場合。





取り扱いを誤った場合に、取扱関係者|取り扱いを誤った場合に、取扱関係者 が死亡または重傷を負う可能性がある┃が軽傷を負うか物的損害が生じる可能 場合、または機器に重大な悪影響を及│性がある場合、または機器に悪影響を 及ぼす可能性がある場合。



- ○**屋外では使用しない。屋内専用です。**漏電や火災の原因になります。
- ○殺虫スプレーや化粧品スプレーなどを直接警報器にかけない。
- 誤報や故障の原因になります。
- 機器に重大な悪影響を及ぼすおそれがあります。
- **○警報器のすき間に針金などを差し込まない。**
- ○警報器は分解、改造を絶対にしない。
- 機器に重大な悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ○取付ネジ、クギの取り扱いは乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。 誤飲やケガのおそれがあります。

- 音孔に耳を近づけて警報音を聞かない。 聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- ○電池を接続する際、または警報器の取り付け、取り外しの際は音孔に耳を近づけない。
- 誤ってボタンが押されると警報音が鳴り、聴力障害などの原因になるおそれがあります
- ○音孔をテープなどでふさがない。
- 十分な警報音量が確保できないおそれがあります。
- **警報器を落下させたり、衝撃を加えない。**故障の原因になります。
- ○警報器に傷を付けたり、ペンキなどでの塗装を絶対にしない。
- 機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ○多量のガスが発生する殺虫剤などを使用する場合は、警報器を取り外し丈 夫なポリ袋などに入れ、煙が入らないようにしてください。火災ではないの に火災警報音が鳴る原因になります。
- 殺虫剤散布後は警報器を元の位置に取り付け、テストをしてください。 ○使用しない取付ネジやクギは、放置せず適切に処分してください。 ケガをするおそれがあります。

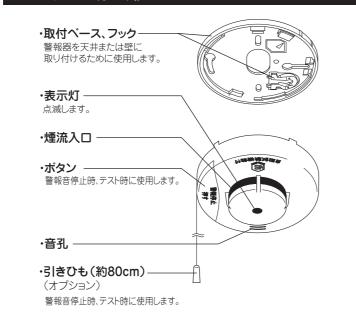
専用リチウム電池について





-)必ず専用電池を使用する。
- 故障の原因や発火、漏液、発熱、破損のおそれがあります。
- ○電池を火中や水中に投入したり、加熱、分解、改造、充電、はんだ付けなどをしない 発火、漏液、発熱、破裂するおそれがあります。
- ○電池の交換は乳幼児の手の届かない場所で行う。
- 誤飲のおそれがあります。
-)必ず電池のコネクタを接続して使用してください。
- ○電池からの漏液が目に入ったり皮膚に付いた時には、ただちに水洗いし、医 師に相談してください。
- ○電池のフィルムは、はがさないでください。フィルムは電池を保護するため

3.各部の名称と働き





4.取付場所について

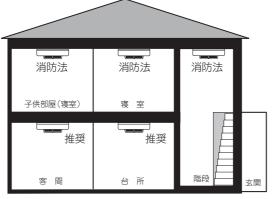
○雨水のかかる場所、浴室や脱衣所などの高湿度環境または水蒸気や結露の発 生する場所には取り付けない。誤報や故障の原因になります。



○天井や壁の補強材が通っている場所を確認の上、取り付ける。 落下のおそれがあります。

■寝室・居室・階段・台所などに取り付けてください。

消防法では、「全ての寝室」と「階段」に設置することが義務付けられています。 その他の部屋については、各市町村の条例に基づいて取り付けてください。



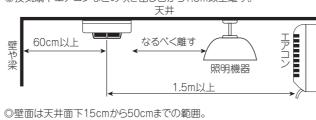
(例)消防法による設置義務のある部屋

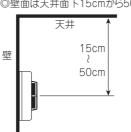
2階建ての場合は、2階の階段の降り口の天井または天井に近い壁に取り付けると、

■警報器のボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。

居室の場合は各部屋の中心に取り付けると、より効果的です。 取り付けの際は、下記の事項に注意してください。煙の感知が遅れる原因になります。 ◎天井面は壁や梁から60cm以上離す。

◎換気扇やエアコンなどの吹き出し口から1.5m以上離す。





煙の感知が遅れる原因 ·換気扇やエアコンなどの吹き出し口に近いと 煙が拡散される。 ・照明機器に近いと、照明機器の形状により 煙の流れを妨げる。

5.取り付けに向かない場所



6.取付方法



〇電池の接続や警報器の取り付けは正しく行う。

正常に作動しないおそれがあります。

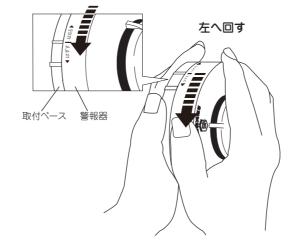
○**安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。



- 電池を接続する際、または警報器の取り付け、取り外しの際は音孔に耳を近づけない。 誤ってボタンが押されると警報音が鳴り、聴力障害などの原因になるおそれがあります。
- ○警報器の取り付け、取り外しの際は警報器の外周を持つ。 煙流入口付近を持つと、破損するおそれがあります。
- ○壁に付属のクギで固定する場合は十分に気をつける。 ケガをするおそれがあります。
- ○**フックを取り付け面側に曲げない。**フックが警報器から外れて落下し破損した り、ケガをするおそれがあります。
- ○日頃人の居ない部屋に取り付ける場合は警報音が聞こえるかを確認の上、取り付け ましょう。また、次のような場合は警報音が聞こえないことがあります。 ・就寝中、薬を服用していた場合
- ・飲酒して就寝した場合 ドアを閉めている時の警報時
- ・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合
- ○取り付け時に発生する埃などが煙流入口から警報器内部に入らないように十分に 注意してください。誤作動の原因になります。

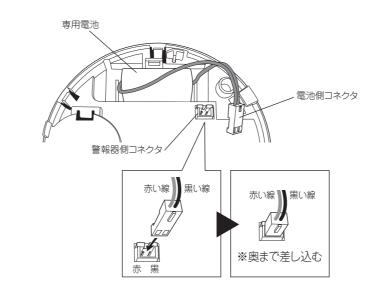
■警報器と取付ベースを外します。

警報器を左に回して取り外してください。

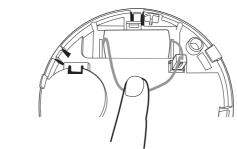


■電池を接続します。

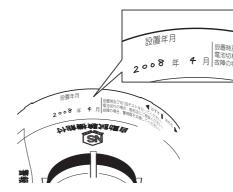
警報器側コネクタに電池側コネクタを奥までしっかり差し込んでください。 (電池のフィルムをはがさないでください。) 電池を接続すると、「ピポッ」と鳴り、表示灯が光ります。



●電池の長い線は下図のように中央へずらしてください。 取付べースに取り付ける際、長い線が取付ネジに引っ掛かるおそれがあります。



- ●電池を接続して5秒以上経過後にテストをしてください。 詳細は「7.テストの方法」をご参照ください。
- ●警報器側面の記入欄に油性のマジックペンで設置年月を記入してください。 交換時期の目安となります。

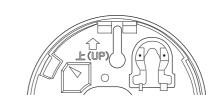


■天井に取り付ける場合 位置合わせ ①天井面の補強材が通っている場所を 確認の上、取付ネジで取付ベースを しっかりと固定してください。 ②"位置合わせ"を合わせ、 警報器が止まるまで右に回してください。 位置合わせ 右へ回す **▲** はずす **■** はめる **▶**

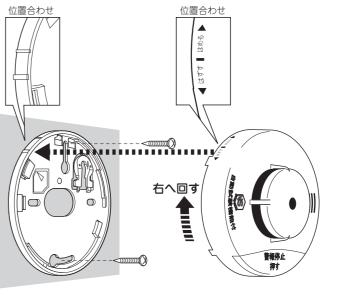
3警報器取り付け後、テストをしてください。 詳細は「7.テストの方法」をご参照ください。

■壁に取り付ける場合

(1)壁面の柱、または補強材が通っている場所を確認の上、 向きを間違えないように取付ネジで取付ベースをしっかりと固定してください。

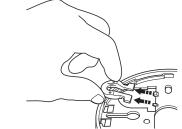


② "位置合わせ"を合わせ、警報器が止まるまで右に回してください。



3警報器取り付け後、テストをしてください。 詳細は「7.テストの方法」をご参照ください。

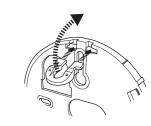
■フックを使用して壁に取り付ける場合



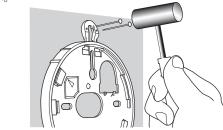
②フックを取付ベースの外側から 差し込んでください。

①取付ベースからフックを

取ってください。



③壁面の柱、または補強材が通っている場所を確認の上、 フックのクギ穴から付属のクギを通し、 2ケ所打ちつけてください。



⑤警報器取り付け後、テストをしてください。 詳細は「7.テストの方法」をご参照ください。

7.テストの方法

④警報器を取り付けます。

定期的に(1ヶ月に1度)警報器が正常に作動するかテストをしてください。

■テストの方法

1秒程度ボタンを押す、または引きひも(※1)を真下に引いてください。 確認音「ピピッ」の後すぐに「ビュービュー、火事です。人事です。」と警報音 が鳴り、同時に表示灯が点滅すると正常です。警報音は自動で止まります。 実際の火災警報の際は、確認音「ピピッ」は鳴りません。

※1:オプション

■テストをして正常に作動しない場合

「13.故障かな?と思ったら」または「10.自動試験機能について」や「11.電池切れ 警報について」をご参照の上、適切な処置をしてください。



)**ライターや暖房器具などを使用しない。**故障や火災の原因になります。 ○**安定した台に乗って行う。**転倒してケガをするおそれがあります。



一音孔に耳を近づけて警報音を聞かない。 聴力障害などの原因になるおそれがあります。

○引きひも(※1)は強く引かない。

引きひも(※1)は斜めに引かない。

警報器が落下し破損したり、ケガをするおそれがあります。

警報器が破損したり、引きひもが切れるおそれがあります。

3日以上留守にした場合は、警報器が正常に作動するかテストをしてください。

8. 火災の場合

煙を感知すると「ビュービュービュー、火事です。火事です。」と警報音(女性の声と 男性の声を繰り返す)が鳴り、同時に表示灯が点滅してお知らせします。この時、確 認音「ピピッ」は鳴りません。

火災の状況に応じて、火元を確認し、落ち着いて避難してください。 ・119番へ通報するなど適切な処置をしてください。

◎万一に備え、日頃の避難ルート、連絡先などを確認することをおすすめします。

9.火災警報音の停止方法

火災警報中に1秒程度ポタンを押す、または引きひも(※1)を引くと、「ピー、警報を 停止します。」と警報音が鳴り、約5分間火災警報音を停止させることができます。

警報器内部に煙が残っている場合は約5分後に再び火災警報音が鳴ります。警報 器内部の煙がなくなるまで火災警報を繰り返します。換気などを行い煙がなくなる と、自動的に火災警報を停止し、監視状態に戻ります。

火災警報停止中にボタンを押す、または引きひも(※1)を引くと、「ピー、警報を停 止中です。」と鳴り同時に表示灯が点滅して、火災警報停止中であることをお知ら

◎火災ではない場合、「13.故障かな?と思ったら」をご参照の上、適切な処置をして ください。

※1:オプション



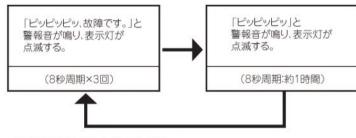
○安定した台に乗って行う。転倒してケガをするおそれがあります。

い災警報の際は、電池を外さないでください。ボタンを押す、または引きひも (※1)を引くと、火災警報は止まります。 ※1:オプション

0.自動試験機能について

警報器に異常が発生し、煙を正常に感知できなくなった場合、故障警報音が鳴り、 同時に表示灯が点滅して、自動的に故障をお知らせする機能です。

■煙を正常に感知できなくなると



故障状態では、火災を感知できません。

故障警報中に1秒程度ボタンを押す、または引きひも(※1)を引くと、「ピッピッピッ、 故障です。12時間警報を停止します。」と鳴ってその後約12時間、故障警報を停止 させることができます。(故障警報を停止している間も火災を感知できません。)

故障警報停止中にボタンを押す、または引きひも(※1)を引くと、「ピッピッピッ、故 障です。警報を停止中です。」と鳴り同時に表示灯が点滅して、故障警報停止中で あることをお知らせします。

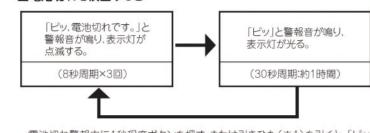
※1:オプション

故障警報の際は、お買い上げの販売店またはヤマトプロテック(株)にご相談の上、 新しい警報器に交換してください。(故障状態では、火災を感知できません。)

11.電池切れ警報について

電池電圧が低下した場合、電池切れ警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅して、自動的に電 池切れをお知らせする機能です。

■電池切れを検出すると



電池切れ警報中に1秒程度ボタンを押す、または引きひも(※1)を引くと、「ピッ、 電池切れです。12時間警報を停止します。」と鳴ってその後約12時間、電池切れ 警報を停止させることができます。

電池切れ警報停止中にボタンを押す、または引きひも(※1)を引くと、「ピッ、電池 切れです。警報を停止中です。」と鳴り、同時に表示灯が点滅して電池切れ警報停 止中であることをお知らせします。

○電池寿命は約10年を想定していますが、お客様のご使用環境により、電池寿命 が短くなる場合があります。

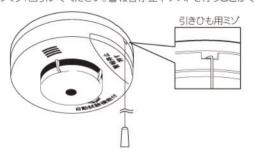
※1:オプション

電池切れ警報の際は、お買い上げの販売店またはヤマトプロテック(株)にご相談の上、 新しい専用電池に交換してください。電池を外す場合は、コネクタを持って外してくだ

12.引きひもについて

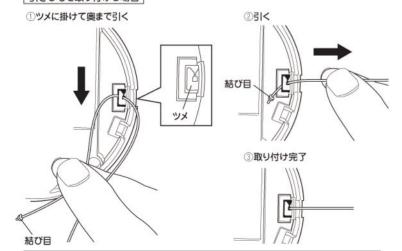
オプション

天井や壁に取り付けた時にボタンが押せない場合は、引きひもをご使用ください。 引きひもはゆっくり1回引いてください。警報音停止やテストを行うことができます。



引きひもは必ず引きひも用ミゾに収めてください。

引きひもを取り付ける場合



引きひもを取り付ける際は音孔に耳を近づけない。

- 引きひもを引くと警報音が鳴る場合があり、聴力障害などの原因になるおそれ
- **引きひもを強く引いたり、ぶらさがらない。**警報器が破損するおそれがあります。 引きひもはミゾに収めて、警報器と取付ベースを取り付ける。
- 警報器が落下し破損したり、ケガをするおそれがあります。

引きひもの取り付けは上図をご参照の上、結び目がツメの裏になるように取り付 けましょう。正しく取り付けないと操作できないおそれがあります。

13.故障かな?と思ったら

下記の対処を行っても改善されない場合、電池切れの場合は、お買い上げの販売店 またはヤマトプロテック(株)にお問い合わせください。

症状	原因	対 処
火災ではないのに火 災警報音が鳴り、同時 に表示灯が点滅して いる。	火災以外の煙など(埃、 殺虫剤、スプレー類、調 理による煙、湯気)を 警報器が感知していま す。	警報器内の煙などがなくなる までお待ちください。また、火 災以外の煙で火災警報が多 発する場合は取付場所を変 えてください。
「ピッ(電池切れです)」 と警報音が鳴り、同時 に表示灯が点滅して いる。	電池残量が少なくなっています。	新しい専用電池に交換してください。購入日から約10年経過していた場合、新しい警報器との交換を推奨します。
「ピッピッピッ(故障です)」と警報音が鳴り、 同時に表示灯が点滅 している。	警報器の故障です。	新しい警報器に交換してください。
電池を接続しても「ピポッ」と鳴らない。	電池切れ、または警報 器の故障が考えられます。	お買い上げの販売店、または ヤマトプロテック(株)にお問 い合わせください。
テストの際、ボタンを 押しても警報音が鳴 らない。	電池切れです。	新しい専用電池に交換してください。
(または引きひも(※1) を引いても同様) ※1:オプション	電池が正しく接続され ていません。	電池のコネクタが正しく接続 されているか確認してください。

14.お手入れ方法

中性洗剤に浸して十分に絞った布で汚れを拭き取ってください。 また、お手入れ後は警報器が正常に作動するかテストをしてください。 詳細は「7.テストの方法」をご参照ください。

- 警報器は水洗いしない。また、ペンジンやシンナーなどを使用しない。
- 安定した台に乗って行う。転倒してケガをするおそれがあります。

- お手入れの際は音孔に耳を近づけない。
- 誤ってボタンが押されると警報音が鳴り、聴力障害などの原因になるおそれがあります 煙流入口に触れない。破損するおそれがあります。

15.廃棄について

- 警報器や電池、および取り付けの際に発生した廃棄物は各市町村で定められ た廃棄方法に従って廃棄してください
- 電池は分解せず、コネクタ部を絶縁テープで覆った上で、各市町村で定められ た廃棄方法に従って廃棄してください。

16.アフターサービスについて

保証書

保証書は取扱説明書(本書)に付いております。販売店名·お買い上げ日などの記入 をお確かめになり、保証書内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間中に修理を依頼されるとき

保証期間はお買い求めいただいた日から1年間です。取扱説明書の「13故障かな?と 思ったら」に従ってお調べいただき、それでも異常があるときは、お買い求めいただい た販売店または、弊社のお客さま相談窓口までご相談ください。

- 修理を依頼されるとき、以下の内容をご連絡ください。 ご住所・お名前・電話番号
 - 商品名・型番・お買い上げ日
 - ・故障または異常の内容

保証期間(1年間)経過後に修理を依頼されるとき

お買い求めいただいた販売店にまずはご相談ください。修理によって商品の機能が 維持できるときは、ご要望により有償で修理いたします。

本商品の交換目安は製造年月から10年です。交換目安を過ぎたらすみやかにあたら しい警報器と交換してください。

VVDU 1A

アフターサービスについてのお問い合わせ

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買 い求めいただいた販売店または、お客さま相談窓口までお問い合わせください。

型 名	YKRH-1A
種別	光電式住宅用防災警報器
鑑定型式番号	鑑住第22~2号
感 知 方 式	煙式
感 度	光電式2種
定格	DC3V.300mA
電源	専用電池(リチウム電池) DC3V: CR17335E-N-CH2-NS FDK CR17335 WK150 日立マクセル
機器交換の目安	約10年(電池寿命も約10年) ※2
音 量	1mにて70dB以上
外 形 寸 法	φ100mm×40.5mm
質 量	約130g(電池含む)
使用温度範囲	0°C~40°C
復旧	自己復旧方式 ※3

※2:使用環境により機器交換の目安および電池の寿命は短くなることがあります。 ※3: 自己復旧方式とは、火災の煙がなくなると自動的に火災警報を停止し、 監視状態に戻る方式です。

引きひも(型名:FZ-005)は、オプションです。 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

|18.警報音の種類

■警報発生の場合

状態	警 報 音
火炎時(火災警報)	「ビュービュービュー、火事です。火事で す。」
警報器の故障時(故障警報)	「ピッピッピッ、故障です。」 「ピッピッピッ」
電池の電圧低下時(電池切れ警報)	「ピッ、電池切れです。」 「ピッ」

■警報音を停止する場合

操作内容	警 報 音
火災警報時にボタンを押す、または引 きひも(※1)を引く。	「ピー、警報を停止します。」
火災警報停止中にボタンを押す、また は引きひも(※1)を引く。	「ピー、警報を停止中です。」
故障警報時にボタンを押す、または引 きひも(※1)を引く。	「ピッピッピッ、故障です。12時間警報を 停止します。」
故障警報停止中にポタンを押す、または引きひも(※1)を引く。	「ピッピッピッ、故障です。警報を停止中 です。」
電池切れ警報時にポタンを押す、また は引きひも(※1)を引く。	「ピッ、電池切れです。12時間警報を停止します。」
電池切れ警報停止中にポタンを押す、 または引きひも(※1)を引く。	「ピッ、電池切れです。警報を停止中です。」

※1:オプション

■電源をONする場合

操作内容	警 報 音
電池のコネクタを差し込む。 (警報器の電源を投入)	「ピポッ」

■テストをする場合

操作内容	警報音
ポタンを押す、または引きひも(※1)	「ピピッ」
を引く。	「ビュービュービュー、火事です。火事です。」

※1:オプション

19.お問い合わせ先

本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 http://www.yamatoprotec.co.jp 上記の番号をご利用になれない場合は 03-3446-7151 へおかけください。 ヤマトプロテック株式会社 (受付時間:平日9:00~17:00 ±・日・祝日・国民の休日をのぞく)

メモ	
S	

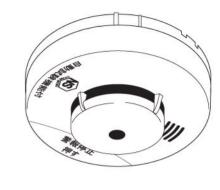
本警報器の交換の目安は約10年です。

3本書は多国内において本商品をお使いになり本場合見ながで見本・見2 5.お客様へ 日本・目本・見本

見本・見本・**ラマトプロテック株式会社**本・見本・見



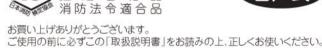
住宅用火災警報器(煙式)



YKRH-1A

音声警報機能付 自動試験機能付 電池式:10年タイプ





なお、この取扱説明書はいつでも確認できるところに大切に保管してください。 保管用保証書付